

地域密着型サービス 運営推進会議報告 令和4年3月15日

事業所名 看護小規模多機能型居宅介護のぞみ

サービス種類 複合型サービス

開催 書面での報告

報告者 看護小規模多機能型居宅介護のぞみ管理者 谷口

報告先	岡山市中区地域包括支援センター中区分室旭東地区担当	射矢様
	地域代表者 岡山博愛会保育園長	石田様
	認知症の人と家族の会岡山県支部	坂本様
	利用者家族代表	増地様

利用状況

R4. 1月

	(名)
登録者数	17
通所	10
1日平均宿泊	3.5
訪問	8
入院中	4
平均介護度	4
短期利用	2

R4. 2月

	(名)
登録者数	19
通所	9
1日平均宿泊	2.1
訪問	7
入院中	3
平均介護度	3.5
短期利用	1

令和4年1月～令和4年2月行事報告

1月

1月4日	新年互例会
1月6日	宿泊者検討会
1月11日	ケア会議
1月12日	人権擁護勉強会
1月13日	看護部勉強会
1月17日	のぞみイベント
1月18日	地域清掃
1月20日	ピアノ鑑賞
1月20日	職員ワクチン接種
1月21日	栄養士指導
1月25日	運営改善会議

2月1日	消防設備点検
2月7日	のぞみイベント
2月7日	高齢者虐待勉強会
2月9日	ケア会議
2月10日	医療安全研修会
2月15日	地域清掃
2月22日	運営改善会議
2月22日	看護部勉強会
2月24日	栄養士指導
2月29日	管理者研修

自己評価・今後の目標

新年を迎え、新たなスタートをきった施設ですが、昨年の広報活動が身を結んできて新規のご依頼も増えています。しかし、目標数にはとどかず、今後も広報活動を継続し進めて行きたいと思います。

施設では、まだまだコロナ感染が予断を許さず、職員の家族の職場、子供の学校などの感染の報告もあり、検査をしながらの勤務体制をとっております。お陰様で、職員の感染はなく安堵する毎日です。手洗い、うがい、マスク、換気、蜜にならないケアを心掛け今後も感染予防に努めてまいります。

ケアプランでは、泊まりの希望が多かったサービスも、通所、訪問へとシフトすることで、ご自宅で過ごす時間が増え、施設としても空床利用である緊急時の泊まりサービスも円滑にお受けできるようになってきました。

超高齢化社会において、今後も看多機の働きは重要だと思えます。利用者に喜んでいただける心のこもったサービスと、安心して任せられる施設を目指して進んで行きたいと思えます。

1月

令和4年

明けましておめでとうございます



初笑い
出来ました



今年もよろしくお願ひします



令和4年

鬼は外



福は内



お楽しみ昼食
おやつ

まとあてでもり上がりました



バレンタインデーは
チョコレートケーキ



～もう1つの我が家をめざして～

令和4年1月～2月の活動報告
グループホーム まこと



<お正月>



さくらユニットでは、書初めをされました。

「字が書けなくなった」と言われる方もおられましたが、職員の手本を見ながら書かれる方、ご自分の名前や好きなものの名前を書かれる方と様々な作品となりました。

そらユニットでは、11月より門松のちぎり絵に取り組み、虎の画像をみながら模写をされました。

「立派な作品ができた」「いいねー」「迫力のある虎じゃなー」と作品を眺めながら話をされていました。



<行事食>



1月の行事食は、おせち料理、穴子寿司、焼きそば、いなり寿司

2月の行事食は、粕汁、豚汁、巻きずし、お好み焼きが出ました。

少しずつですが、みなさんからリクエストをいただいた食事やおやつを提供できるように取り組んでいます。
お寿司やカレーは、みなさんからの希望が多く毎月のメニューの中に入っています。

<さくらユニット>



さくらユニットでは、酒粕を使って粕汁、甘酒作りをしました。

「昔は、ばあちゃんが作ってくれてたんよ」「味見をしすぎて体がぽかぽかする」「美味しいのができた」「おかわりをお願いします」とみなさんに好評でした。

職員は、インターネットで検索しながらの調理となっていましたが、「昔はこうやって作ってたんよ」と調理の方法を丁寧に教えて下さいました。

<そらユニット>



そらユニットでは、みなさん作品作りをされています。
雪だるま作り、塗り絵、模写、習字、おやつ作りと様々な活動に参加されています。
毎月、季節を感じて頂けるような行事を計画しています。
1月は新年会、2月はバレンタインのチョコレート作りをしました。

まことの感染症対策

<まことでの感染症対策について>

*まことでは、新型コロナウイルス感染症対策として以下の対策を実施しています。

<入居者さま>

- ・マスクの着用
- ・手指のアルコール消毒
- ・朝、夕の体温測定
- ・発熱、体調不良みられた際は、早めに受診
体調不良時は、居室で過ごす
- ・新型コロナウイルスワクチン接種 3回目実施 (17人中13人接種済)

*現在、2回目接種から6か月が経過されていない方もおられます

<職員>

- ・出勤前の体温測定
- ・マスクの着用
- ・手指のアルコール消毒
- ・アイガード、フェイスシールドの着用
- ・法人内の病院、施設の訪問の際もアイガード、フェイスシールドの着用
- ・体調不良時には出勤を控える
- ・休憩時は黙食
- ・不要不急の外出はしない
- ・密を避ける、密を作らない
- ・新型コロナウイルスワクチン接種 3回目実施 (20人中20人接種済)



マスクをしよう

<その他の感染対策>

- ・ アクリル板の使用（リビング）
- ・ 1日3回毎食後テーブル、いす、手すり、ドアノブ、エレベーターボタン等共用部のアルコール消毒。
- ・ 毎食前後 テーブルのアルコール消毒。
- ・ リビングのこまめな換気（1時間毎の換気、5分間）
- ・ 廊下の排煙窓を開け常時換気
- ・ 直接会っての面会を中止しテレビ電話を使用しての面会に変更
- ・ 勉強会の開催

「施設での新型コロナウイルス感染症の感染予防対策」研修会の動画の活用
手洗いチェック（手洗いチェッカーの活用）

*手洗いチェッカーとは、特殊なクリームのことを言います。

クリームを両手に付け手洗いを実施し、ブラックライトを当てると、洗い残しの部分が白くなり、日頃の手洗いの見直しができます。

今回手洗いチェックを実施し指の間、手の甲等洗い残しが多くみられました。

手洗いチェックをすることで、指の間、手首、手の甲等洗い残しがないよう注意し手洗いをするように意識するようになりました。



令和4年3月15日

地域密着型サービス 運営推進会議報告

事業所名…………グループホーム まこと

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

開催……………新型コロナウイルス感染予防として書面で報告

報告者 グループホーム まこと 泉
報告先 岡山市中区地域包括支援センター
中区分室 旭東地区担当 射矢様
地域代表 博愛会保育園園長 石田様
地域代表 認知症の人と家族の会
岡山県支部 坂本様
入居者家族 黒住様

<入居者状況>

	入居人数		平均介護度		入院	
	令和4.1月	令和4.2月	令和4.1月	令和4.2月	令和4.1月	令和4.2月
さくら	9名	9名	2.0	2.0	1名	2名
そら	8名	7名	3.0	3.0	3名	2名

退院:1月そらユニット 2名

退去:2月そらユニット 1名

<令和4年1月から令和4年2月行事、勉強会報告>

(1月)

1月1日 お正月行事食

1月4日 新年互例会

1月6日 さくらユニット誕生日会

1月18日 地域清掃活動

1月19日 なんでも勉強会

1月20日 行事食

新型コロナウイルスワクチン接種3回目(職員)

1月21日 新型コロナウイルスワクチン接種3回目(職員)

1月22日 そらユニット誕生日会

1月23日 そらユニット新年会

1月25日 新型コロナウイルスワクチン接種3回目(入居者3名)

- 1月 26日 新型コロナウイルスワクチン接種3回目(入居者6名)
さくらユニット誕生日会
- 1月 27日 関節リウマチ勉強会
- 1月 28日 新型コロナウイルスワクチン接種3回目(入居者2名)
新型コロナウイルスワクチン接種3回目(職員2名)
- 1月 31日 経営会議
そらユニット誕生日会

(2月)

- 2月1日 消防設備点検
- 2月3日 節分行事食
- 2月7日 高齢者虐待勉強会
- 2月15日 地域清掃活動
- 2月21日 行事食
- 2月22日 医療安全委員会
ミッションハウス運営改善会議
脳卒中勉強会

<自己評価、今後の目標>

年明けより、新型コロナウイルスの感染者拡大のため、直接会っての面会の中止、テレビ電話を活用した面会へと変更となった。コロナのため、家族とのかかわりが少なくなっており、入居者、家族の方共に心配、不安に感じられていると思う。入居者の方は、希望時に電話をかける機会を設けている。家族の方へは電話や毎月のお便り、運営推進会議の報告を通じて生活の様子ので報告が出来るように工夫している。入居者の方と家族との繋がりが途切れないように支援していきたい。

入居者の方の生活では、居室の掃除、洗濯物、食事の準備、片付けを職員と一緒にすることにより、生活の中での役割作りが定着してきている。YouTube を使ったの体操、個別リハビリ(手すりを持つての立位練習など)、天気の良い日は散歩へ出かけるなど筋力予防や塗り絵、貼り絵等作品作りをすることで手先のリハビリにも努めている。

感染対策の徹底しウイルスを持ち込まないこと、職員、入居者の方が感染した時の対応の確認、研修会の実施をしていき、速やかに対応ができるようにしていく。また、余暇時間の充実として、入居時に家族の方に記入していただいたフェイスシートをもとに趣味活動(習字、模写、手芸、園芸など)の提供をしていき、気候がよくなるため散歩の機会を設け、感染症対策をしながらも楽しみのある生活を送れるように支援をしていきたい。

第8回 運営推進会議結果

令和4年3月20日

<ご家族様より>

看護小規模多機能居宅介護 のぞみ について

評価

去年は入院生活でしたが、やっと家に帰ることが出来ました。今までお世話になっていた所は、父の体に負担があるようで、新しく通わせてもらう所が、のぞみで受け入れてもらい、毎日通わせて頂き本当に感謝と、私達家族が安心して仕事に行く事ができるのもスタッフの皆様のおかげです。父も毎日学校に行く様に喜んで用意をしてくれます。スタッフの皆様の明るい笑顔、父に対しても本当に良くして頂き、のぞみに世話になって良かったです。

ご要望

父の行動や言葉で前に本当にスタッフの皆様の不愉快な思いを感じさせて申し訳ありませんでした。これから先もだんだん体も今より衰えてくると思います。今の家族の思いは1日1日、穏やかに残りの日々を送ってくれる事です。何かあれば遠慮なくお伝え下さい。仕事の都合で1日泊まりの日を増やしてもらう時があるかもしれないのですが、前もってお知らせさせていただくので、その日がお願いできる様であればよろしくお願いします。

思い

スタッフの皆様、まだまだコロナが落ち着かない毎日で、特に高齢者の方々が通っているので（父も含めて）私達も気をつけるよう、心掛けていきます。寒い日々を何事もなく無事に過ごすことができました。退院しての春から夏に向けてペースメーカーを入れて、酸素をしながらの生活が初めてで、寒い冬とはまた違った体調の変化に気をつけながら、スタッフの皆様にお世話になりながら過ごしていけるようにと思っています。

<ご家族様より>

グループホーム まこと について

評価

入居者の日々の状態を肌理細かくフォロー頂き、変化があれば適宜家族に知らせて下さり、対処法等のご相談、ご助言をいただいています。日頃の細やかな介護、観察の賜物と思われ、高くご評価したいと思料いたします。

ご要望

引き続きコロナ対策に注力され、本人が希望する範囲内で、日常の仕事（掃除、洗濯、片付け等）に従事させ、体を動かすよう勧めることをお願いしたい。

また、コンフリクトが生じない程度に、スタッフの方々や他の入居者の方々とのコミュニケーションを取るようお願いしたい。

助言

高齢者認知症患者特有の精神症状（自己抑制がきかない等）が現れることもあろうかと思われませんが、介護技術、ノウハウの向上の為教材と割り切って、介護サービスの質の確保、維持に努められたい。

<岡山市中区地域包括支援センター 中区分室 旭東地区担当>

看護小規模多機能居宅介護 のぞみ について

評価

感染リスクの高い医療依存度が高い方や入退院を繰り返す方が自宅を拠点として、ご利用をされているため、コロナ感染予防には細心の注意を払い対応をされていると感じます。
利用者さまが、住み慣れた自宅で馴染みのスタッフから医療ケアを受けながら、緊急時には泊まりの対応ができる体制を整えられています。

要望

特にありません。

助言

特にありません。

グループホーム まこと について

評価

外出がままならない中で、季節を感じ五感を刺激する取り組みができていると思います。
要介護度が2や3の比較的軽度な利用者さまがスタッフの支援を得ながらもご自分のできる範囲で役割のある生活を楽しみをもって送られていると思います。

要望

特にありません。

助言

特にありません。

地域代表 博愛会保育園 園長

看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ、グループホーム まこと について

評価

岡山市内は、新型コロナウイルスのリバウンド等、まだまだ心配がされる場所ですが、職員の皆様が感染対策を心がけ頑張られていることありがとうございます。

そのような中でも、ご入居者の方の楽しみや喜びを支えられ、皆様を笑顔にされていることに感謝しかありません。

要望

保育園の方も4月に入り、新クラス体制となりましたら、もう少し保育園児との関わりをもたせていただきたいと考えております。すみませんが、またご相談させて下さい。宜しくお願い致します。

助言

ご利用様はもちろんのことではございますが、ご利用様を支えています、職員の皆様のご健康を心よりお祈りしております。